

この企画展の一部は、平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域の拠となる美術館・歴史博物館支援事業）による助成を受けて実施するものです。



# 未来への約束

いま語りはじめた  
気仙のたからもの



背景画像：陣羽織（陸前高田市立博物館蔵）

東日本大震災発災から7年、  
絶え間なく続けられている  
被災文化財の再生。

それは、地域の歴史を、文化を、  
明日につなぐ、未来への約束です。

この展覧会では、気仙地方

とりわけ陸前高田市に伝わる

再生された被災文化財に視点を当て、

試行・錯誤しながら構築された

安定化処理方法や、

資料が携えてきた

メッセージを紹介します。

平成30年

4月3日(火)～5月6日(日)

開館時間 9時30分～16時30分(入館は16時まで)

休館日 月曜日(4月30日は臨時開館)

入館料 一般310円(140円)、学生140円(70円)、

高校生以下無料※(～)内は20名以上の団体割引料金

主 催 津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と

専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会、

岩手県立博物館

協 力 女子美術大学

会 場 岩手県立博物館

住 所 〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34

電 話 019(661)2831

ファクス 019(665)1214

岩手県立博物館

# 展示構成と主な展示資料

## 1 気仙の記録をつなぐ—吉田家文書—

被災文化財救援活動において最初に救出された吉田家文書。その現状と構築された安定化処理方法の概要を紹介します。

吉田家文書「定留」(岩手県指定文化財)、気仙隕石の破片他

## 2 東日本大震災発災から7年

被災文化財再生の歩みを、映像で紹介します。

## 3 気仙の暮らし

産金、漁撈、年中行事(端午の節句)の様子を、実物資料とイラストで紹介します。

木造観音菩薩坐像、木造勢至菩薩坐像  
(住田町 光勝寺蔵:岩手県指定文化財)、  
陸前高田の漁撈用具(国登録有形民俗文化財)、  
蕨手刀(陸前高田市指定文化財)、こいのぼり、虎舞幕、陣羽織他

## 4 失われた気仙の景観

明治時代の気仙を描いた蓑虫山人。その作品とともに、高田松原の震災前後の状況を写真で紹介します。

蓑虫山人「気仙郡日記」、高田松原関係自然史標本他

## 5 再生された絵画

水彩画と油彩画それぞれについて構築された脱塩処理方法を、再生された作品とともに紹介します。

猪熊弦一郎「顔」、行木正義「1984の黒」、柳下彰平「海辺の小屋」他

## 6 海を越えた絆

約2年の時を経てアメリカ西海岸へ流れ着いた、高田高校の実習船「かもめ」。帰還の過程で紡がれた絆を、この船とともに紹介します。

# 関連イベント

## ●特別講演会①「吉田家文書にみる気仙の暮らし」

- ・日時:4月15日⑧ 13時30分～15時
- ・場所:地階 講堂
- ・講師:兼平賢治氏(東海大学講師)
- ・定員:140名(当日受付、聴講無料)

## ●特別講演会②※日曜講座を兼ねる 「ポーの一族の世界—漫画の魅力—」

被災した陸前高田市立博物館のコレクションの中に漫画の雑誌があります。その時代に生きた人々にとって、過去と未来をつなぐ重要な役割を果たした漫画の持つ魅力を、萩尾望都先生が「ポーの一族」を通して講演します。

- ・日時:4月22日⑧ 14時～15時30分
- ・場所:地階 講堂
- ・講師:萩尾望都氏(漫画家、女子美術大学客員教授)
- ・司会:内山博子氏(女子美術大学教授)
- ・定員:140名(聴講は無料ですが、整理券※が必要となります。)

※1…4月6日⑨までに、次の方法で申し込んでください。  
往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記して、〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館「萩尾望都氏特別講演会」あてにお送りください。

- ・4月6日⑨必着です。
- ・記載内容が正確でない場合は、返信ができない場合がありますので、ご注意ください。
- ・応募者多数の場合は厳正な抽選を行い、当落については返信はがきでご連絡いたします。
- ・当落については、個人ごとにはお答えいたしかねますので、ご了承ください。
- ・お知らせいただいた個人情報、今回の特別講演会以外には利用いたしません。

## ●リードオルガン演奏会 「奇跡のオルガン—よみがえるほほえみの音色—」

- ・日時:4月29日⑧⑨ 11時～12時、14時～15時
- ・場所:2階 特別展示室
- ・演奏:箱木禮子氏(日本リードオルガン協会東北支部長)(当日受付、要入館料)

## ●まんが似顔絵

女子美術大学の学生が、女性らしい感性で来場者の皆様をモデルに「まんが」で似顔絵を描きます。

- ・日時:5月3日⑩⑪～5月5日⑫⑬
- ・場所:エントランスホール～大階段
- ・定員:1日約40人  
(要入館料、参加費100円 当日会場にて予約券を販売します)  
※時間帯予約制ですので、ご購入時にご希望の時間帯をお伺いします(先着順)。  
※予約券の販売時間は、午前の部(10時～12時)は9時30分から、午後の部(13時～16時)は12時30分から開始します。  
※こちらで用意したはがきに作画します。所要時間は約30分です。

## ●県博日曜講座 「救出された資料が語る気仙地方の暮らし—漁撈、製鉄、産金に視点を当てて—」

- ・日時:4月8日⑧ 13時30分～15時
- ・場所:地階 講堂
- ・講師:赤沼英男(岩手県立博物館)
- ・定員:140名(当日受付、聴講無料)

## ●展示解説会

- ・日時:4月15日⑧ 11時～12時、4月28日⑫ 14時30分～15時30分
- ・場所:2階 特別展示室
- ・講師:兼平賢治氏(東海大学講師)※4月15日のみ  
赤沼英男、鈴木まほろ(岩手県立博物館)  
(当日受付、要入館料)



「ポーの一族 春の夢」(萩尾望都 著・小学館)

# 交通アクセス

## 路線バスをご利用の場合

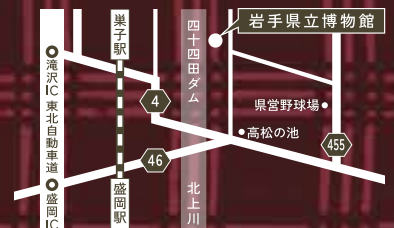
盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば(ななっく前) 発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗車、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。

## お車をご利用の場合

東北自動車道 盛岡ICから約30分、  
東北自動車道 滝沢ICから約20分

## 岩手県立博物館

〒020-0102  
岩手県盛岡市上田字松屋敷34



背景画像=「カンバン」(国登録有形民俗文化財 陸前高田市立博物館蔵)